

(教育・学習機会の充実－N－1)

手仕事に学ぶ子供たちのキャリア教育支援ネットワーク 特定非営利活動法人 地域学習プラットフォーム研究会(富山県)

【概要】

様々な手仕事で働く姿をe手仕事図鑑として教材化し、子どもたちが職業観を学ぶ活動を推進しています。興味や関心を持った手仕事について、子どもたちの企画により、手仕事職人を訪問取材し、仲間と一緒に図鑑にまとめる体験学習を行います。体験することにより実際の職場での感動や職人の技、仕事の難しさ、やりがい、その仕事に就きたいきさつなど学校等では学ぶことができない職業観を学びます。子どもたちの体験学習の実施が図鑑や実践記録、指導要領として蓄積されこれが再利用されます。これまで富山、藤沢、和歌山、高知、徳島、尾道、熊本、福島の8地区で63教材を制作・整備しました。

子どもたちは勿論、大人もまたこのe手仕事図鑑によって様々なことを知り、体験し、その体験をもとに「生きる力」を育むことを狙っています。

<http://shiminjuku.org/teshigoto/>

【コラム】

教材などすべてのコンテンツはクラウド化しているので全国各地で検索、参照、登録、ダウンロードが可能です。各地で制作したコンテンツをこのクラウドに登録して、それを必要とする利用者が共用します。コンテンツは教材、指導要領、実践事例集からなります。

教材	教材は「音で知る」、「映像で知る」、「イラストで知る」の3部構成とし、約60の教材を地域、カテゴリーで分類しています。
指導要領	これから体験学習を実施しようとする指導者むけに、教材の活用方法、企画から事後学習までの進め方、ポイントをまとめています。
実践事例集	各地域で実施した指導者による体験学習の実践事例集です。体験学習の一連の様子を映像と報告書で紹介している他、参加者募集チラシ、打ち合わせ記録等の資料も掲載しています。

活用事例

(1) 教材から伝統産業や地域産業を知る

始めに教材の音を聞いて、何の仕事かを想像します。次にイラストを見て技や、環境、手順などをさらに想像します。次に10分から15分間ほどの映像を見て、自分の想像したことを確認します、また思いもよらなかった事柄や新たな気づきを体験する事ができます。これらの経過や結果を仲間と話し合います。

(2) 体験学習を行い、結果を指導者ガイドに登録する

指導要領に目的の明確化、カリキュラムと実施計画の立て方、体験学習の準備、今後につなげる……の手順を紹介していますのでこれを参考にします。

指導者は目的に合致するような職人を選定し、次にその教材の体験記事(実践事例集)を参考にして、体験学習の進め方を検討して実施の企画をします。

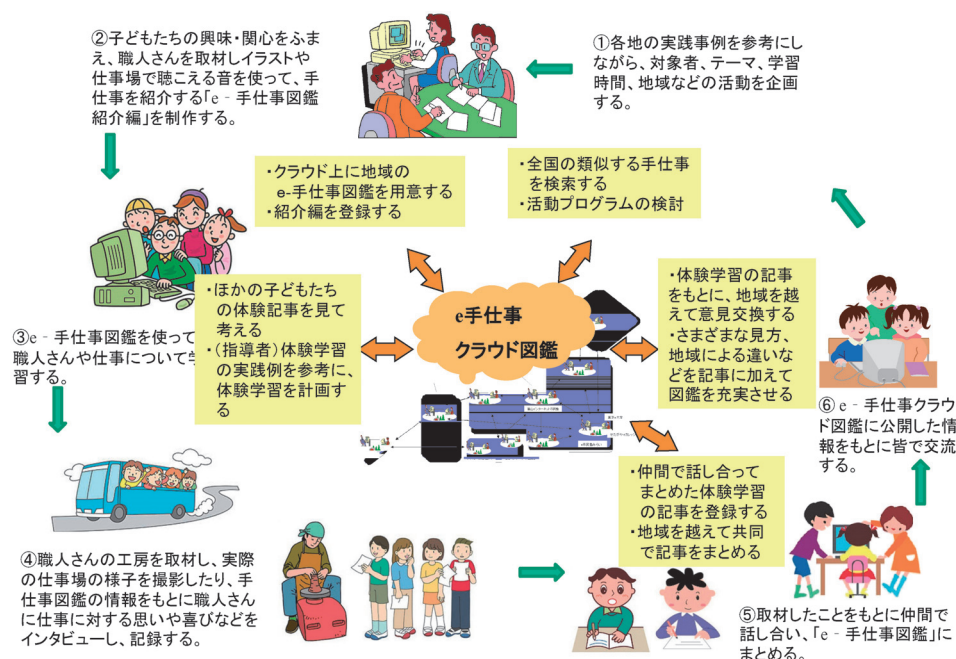
手順の事例として、内部打合せ、職人さんへのお願い、子どもたちの募集チラシ、子どもたちの父兄へ説明、体験学習当日のシナリオ、移動手段、食事、傷害保険加入、スタッフの調達、スタッフ役割分担、職人さんへの

質問内容、質問担当の事前確認、……当日の行動、子どもたちのまとめ、まとめた結果のクラウドへの登録……、等、参考になる実際の事例を掲載しています。

(3) 教材の制作

大きくなったら何になりたいか？ どんな人になりたいか？ というような「夢」「希望」「あこがれ」を持ち、子どもたちが自らの将来の生き方について考えることができることを狙って、地元の身近な職人さんが黙々と手仕事に打ち込む姿を記録します。音、映像、イラストに分けて一式の教材としてe手仕事図鑑に登録し、全国からの利用を促します。

運用イメージ図



(問い合わせ先)

特定非営利活動法人 地域学習プラットフォーム研究会

TEL/FAX076-439-8666/076-444-1121

e-mail: info@shiminjuku.com